

2年家庭（MYP3 Design）【技術・家庭：1単位】

科目のねらい

MYP design の指導と学習のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・デザインするプロセスを楽しみ、その優雅さとパワーを知ること。
- ・さまざまな学習分野の知識、理解、スキルを深め、それらを用いてデザインサイクルを用いてデザインし、問題に対するソリューションを作り出すこと。
- ・情報を入力・処理・伝達し、ソリューションをモデル化したり、作り出したり、問題を解決する為の手段として、効果的に技術を活用、応用すること。
- ・デザインの革新が、生活、グローバル社会、環境にもたらす影響への認識を深めること。
- ・それぞれの文化的、政治的、社会的、歴史的、そして環境的な文脈において、現在、過去、未来のデザインを認識すること。
- ・他者の視点を尊重することを覚え、問題の解決にはいくつもの方法があることを認識すること。
- ・誠実さと正直さをもって活動し、自らの行動に責任を持つことで、効果的な仕事の進め方を覚えること

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A：探究と分析	i. ソリューション提供の必要性を説明し、正当化すること
	ii. ソリューション開発のために必要とされる、一次および二次資料によるリサーチを特定し、優先順位をつけ、それを述べたリサーチ計画を作成すること
	iii. ソリューション開発のヒントを得るため、幅広く既存の製品を分析すること
	iv. 先行研究を分析し、それについて述べたデザインブリーフを作成すること
B：アイデアの発展	i. 収集したデータに基づき、ソリューションのデザインに関する成功規準を明記した設計仕様書を作成すること
	ii. 他人が正しく解釈できる、実現可能なデザイン案を複数提示すること
	iii. 選択したデザインを提示し、そのデザインを選択した理由を簡単に述べること
	iv. 正確なスケッチや図案を作成し、選択したソリューションの製作に対する要件を簡単に述べること
C：課題解決	i. 論理的に筋の通った計画を立てる。その計画は時間やリソースを無駄なく使う方法が簡単に述べられており、他の生徒もそれを見てソリューションの製作ができるものになっていること
	ii. ソリューションの製作にあたり、優れた技術的スキルを示すこと
	iii. 計画に従い、意図した通りの機能を実現するようソリューションを製作すること
	iv. ソリューションの製作にあたり、選択したデザインや計画に変更を加えた部分を説明すること
D：評価	i. ソリューションの効果を測定するための正確なデータを生成する、詳細かつ適切なテスト方法について詳しく述べること
	ii. 効果の測定結果を設計仕様書と付き合わせて、ソリューションの効果を説明すること
	iii. ソリューションをどのように改善できるかを詳しく述べること
	iv. ソリューションが顧客やターゲット層に及ぼす影響を詳しく述べること

※ねらい・目標の記述は、IBO 発行の「MYP Design guide」に基づいています。

関連概念（デザインの学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

適合	協働	人間工学	評価
形	機能	革新	発明
市場とトレンド	ものの見方	リソース	持続可能性

※目標と評価規準は MYP Design3 のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題のMYP評価観点（【】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目とのつながり
前期 (4月～9月)	2	1. 発展 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーション、協働、批判的思考	<p>【KAISEI collection】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな場面でどんな服を着ているのだろう ・身の回りの布製品はどのようにできているのだろう ・開成 Secondary school Tシャツを企画しよう ・T.P.O. に合った冬の着方を工夫しよう <p>教材 開隆堂 技術・家庭 家庭分野</p> <p>【学習指導要領 B「衣食住の生活」】</p> <p>(4) 衣服の選択と手入れ</p> <p>ア(7)衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用や個性を生かす着用</p> <p>(イ)衣服の計画的な活用、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ</p> <p>イ日常着の選択や手入れの工夫</p> <p>【学習指導要領 C「消費生活・環境」】</p> <p>(1) 金銭の管理と購入</p> <p>ア(7)購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理</p> <p>(イ)売買契約の仕組み、消費者被害、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理</p> <p>イ情報を活用した物資・サービスの購入の工夫</p>	<p>【A】探究と分析</p> <p>「衣服の材料、取扱についてまとめる」</p> <p>・身の回りの布製品の成り立ちや取扱について理解する</p> <p>【B】アイデアの発展</p> <p>「Tシャツの企画書とプレゼンテーション」</p> <p>・テーマ、コンセプトとニーズに合うデザインを工夫することができる</p> <p>【C】課題解決</p> <p>「繊維の種類とその理由（実験）」</p> <p>繊維の性能についての実験計画を立て、実験、考察することができる。</p> <p>【D】評価</p> <p>・考案した着方を様々な視点から評価し、生活に生かすことができる</p>	<p>1. 学習指導要領</p> <p>①知識・技能</p> <p>【A】 【C】</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>【B】</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>【D】</p> <p>2. 道徳内容項目</p> <p>C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実</p>
後期 (10月～3月)	4	1. システム 2. 個人的表現と文化的表現 3. 創造的思考、整理整頓、情動、振り返り	<p>【生活に役立つ布製品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に役立つ布製品を完成させるためには ・身近な製品の工夫とは ・製作の計画 <p>【学習指導要領 B「衣食住の生活」】</p> <p>(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作</p> <p>ア製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱い</p> <p>イ生活を豊かにするための資源や環境に配慮した布を用いた物の製作計画及び製作の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズをふまえた布を用いた製品のデザイン、設計書 ・作品とその製作過程、振り返り <p>【A】探究と分析</p> <p>「既存の製品に施された工夫から学ぶワークシート」</p> <p>・既製品の工夫を見出し、自分の製作計画に生かすことができる</p> <p>【B】アイデアの発展</p> <p>「設計書」</p> <p>・基本の製作手順を発展させ、用途に応じた製品をデザインすることができる</p> <p>【C】課題解決</p> <p>「製作」</p> <p>・用途に応じた製品にするために、必要な知識、技能を活用できる</p> <p>【D】評価</p> <p>「製作過程の振り返り」</p> <p>・ソリューションの影響力を評価する</p>	<p>1. 学習指導要領</p> <p>①知識・技能</p> <p>【A】</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>【B】 【C】</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>【D】</p> <p>2. 道徳内容項目</p> <p>D(20) 自然愛護</p>